

# 模擬国連ワークショップ

2020年3月6日、東京大学駒場キャンパス

---

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構



# 登壇者紹介

---

- 中村長史 (東京大学 大学院総合文化研究科 特任助教)  
模擬国連の授業担当教員 (学生時代に模擬国連経験) の立場からお話します
- 高橋尚子 (国際連合 政務・平和構築局 政務官)  
現役国連職員 (学生時代に模擬国連経験) の立場からお話します
- 北村優成 (東京大学 教養学部生)
- 高園遼太郎 (東京大学 教養学部生)
- 高羽珠理 (東京大学 教養学部生)  
模擬国連の授業履修者の立場からお話します

# 本日の目的

ある授業の成功例が  
他の授業でも  
有効とは限らない！

導入目的次第！

学習者の学びを促すうえで効果的な

模擬国連の授業への導入法について学びあう

【セッション1 模擬国連のできること・できないこと】

- 模擬国連の教育手法としての特徴を説明できるようになる

【セッション2 模擬国連のミニ体験】

- 模擬国連の実施の手順を説明できるようになる

【セッション3 社会で役立つ模擬国連】

- 模擬国連で学んだことの社会での活用例を説明できるようになる

# 自己紹介 & 他己紹介

---

## ①1人で考える

- 名前
- 各現場に持ち帰りたいこと
- 模擬国連の導入目的(既があれば)

## ②ペアになって自己紹介

## ③4人組になって他己紹介



# 本日の構成

---

1. 模擬国連のできること・できないこと
2. 模擬国連のミニ体験(規模縮小開催のため省略)
3. 社会で役立つ模擬国連

# 1.1. 模擬国連の流れ

---

## 【会議前】

- 議題の調査・分析
- 担当国の調査・分析

## 【会議中】

- 公式会合・非公式会合・コーカス
- 決議案提出・投票行動

## 【会議後】

- ふりかえり

## 1.2. 模擬国連のできること・できないこと

---

### 【できること】

- 多様な利害・価値観を知る
- 合意形成の技能を磨く (cf. ディベート)
- 公式(タテマエ)と非公式(ホンネ)を使い分ける (cf. ディベート)
- プロシージャラーを駆使する
- 国際政治学の知識を使いこなす
- 英語の資料を読み込む
- 英語での発信を練習する

### 【できないこと】

- 国内政治過程は捨象されている
- 革新的な議論はロールプレイに徹している限りしにくい

ふりかえりの時間に  
補足・検討することは  
可能

## 1.3. 企画者の授業の流れ

- 【全体】シラバス(資料1)
- 【会議前】Policy Paper I・II(資料2・3)
- 【会議中】公式発言(Slackで代用)  
決議案(資料4)
- 【会議後】ふりかえり:大使として・個人として  
レポート(資料5)

三 #公式会合



【公式発言・アメリカ合衆国】  
議長及び各国代表の皆様お疲れ様でした。まず、我々と致しましては、英米が主導でまとめて参りました1210\_英米改が採択されなかったことに無念の意を表します。

この案を我々が推進致しました理由、ならびに今回採決されました決議案1210\_3に対して我々が明確に賛同の意を示さなかった理由を以下に述べさせていただきます。たく存じます。

我々が1210\_英米改の採決を目指したのは、安保理決議1441などで我々がサダム政権に警告を与えてきたのにもかかわらず、査察を部分的にのみしか受け入れず、今尚提出される報告書の中身には曖昧な箇所が見られたり、隠蔽を図ったりとその姿勢にはまだ大いに改善の余地が見られることによります。生物兵器や化学兵器といった非人道的な兵器の数々を使用し、核兵器にまで手を伸ばそうとしているサダム政権に対しては安保理決議1441で定めた武装解除のプロセスをより厳格な形で進めるべきであると考えておりました。この決議案は非人道的な武器を使用されてきたイラクの人民、そしてサダム政権の凄惨な武器の脅威を今後目の当たり

# 1.4. 企画者の授業のできること・できないこと

---

## 【できること】

- 多様な利害・価値観を知る
- 合意形成の技能を磨く
- 国際政治学の知識を使いこなす
  - ・ 問題の定義
  - ・ 問題の原因
  - ・ 問題の解決策
- 当時の政策選択を問いなおし、「現実」の可変性・多面性に気づく  
(過去の会議を設定)

## 【できないこと】

- プロシージャラーに関する駆け引き
- 公式発言のトレーニング  
(非公式会合ではトレーニングの機会)
- 英語での発信のトレーニング

## 1.5. 導入目的明確化

---

Q. みなさんの現場では、どのような目的で授業に導入しますか。  
その目的のためには、模擬国連のどのような機能が  
手段として必要でしょうか。

- ①1人で考える
- ②4人組になって話し合い



## 1.6. 小括

---

- 模擬国連を導入する目的を明確化する。模擬国連はあくまでも手段
  - ・ 時間・空間・既有知識に制約があるなかで、意識的に取捨選択をする必要
  - ・ 「学びのフルコース」であるがゆえに、絞る必要
  - ・ 「学びのフルコース」とはいえ、他の手法の方が適している場面もある

# まとめ

---

## ①1人で考える

- 学んだこと
- 各現場に持ち帰れること
- 疑問に思ったこと・さらに知りたいこと

## ②ペアになって話し合い

